

参加申込方法について

- 下記のURLのフォームよりお申し込みください。(〆切は3月8日(水)です)

<https://forms.gle/9hCLUopU1TYZmAf49>

- 参加費は無料です。
- 参加申込みについてのお問合せは、下記メールアドレスまでお願いいたします。

E-mail has-sec@itg.hitachi.co.jp

※お申込みは先着順です。参加者数上限(350名)を超過した場合、お断りさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

※お申込みは参加者ご本人様にておこなっていただきたくお願いいたします。

HAS研 第48回研究会 プログラム

(Hitachiアカデミックシステム研究会)

テーマ: 『新たな脅威に立ち向かう! サイバーセキュリティの今』

開催日時. 2023年3月15日(水) 13:30~16:40

開催方法. オンラインセミナー形式(Zoomウェビナー)

<接続方法はご参加登録後に別途メールにてご案内申し上げます>

第48回研究会 『新たな脅威に立ち向かう！サイバーセキュリティの今』

13:30~16:40

■ 開会挨拶 13:30~13:40

Hitachiアカデミックシステム研究会 会長 外岡 秀行 (茨城大学 教授)

■ 講演1 13:40~14:30

「海外からのサイバー攻撃の実態」

一般社団法人日本ハッカー協会 代表理事
合同会社エルプラス 代表社員

杉浦 隆幸

昨今、インシデントの発生件数、ランサムグループによる被害件数も右肩上がりに伸びています。海外からくるサイバー攻撃はどのような人たちが、どのような目的で、どのように行っているのか、サイバー攻撃者の目線から解説致します。

【講師プロフィール】

Winnyの暗号の解読にはじめて成功、ゲームのコピープロテクトの企画開発をはじめ、企業や官公庁の情報漏洩事件の調査コンサルティングを行う。昨今では仮想通貨の安全性確保、Androidアプリの解析や、電話帳情報を抜くアプリの撲滅、ドローンをハッキングで撃墜するデモや、自動車のハッキングなどを行う。テレビなどの出演多数。



<休憩 10分間>

■ 講演2 14:40~15:30

「サプライチェーンのサイバーセキュリティの脅威と対策」

IPA 独立行政法人情報処理推進機構
産業サイバーセキュリティセンター
サイバー技術研究室 専門委員

佐々木 弘志

DX推進やサプライチェーン間のデータの共有が進み、企業間のサイバー空間上でのつながりが増加することで、サイバーセキュリティの重要性が増している。本講演では、つながる社会のサプライチェーン上の脅威について整理し、日米欧で進むセキュリティ規制の状況やリスク低減のための対策例を紹介する。

【講師プロフィール】

制御システム開発の経験をもつセキュリティ専門家として、産業サイバーセキュリティのビジネス化をめざし、国内外の講演、執筆などの啓発活動に従事。経済産業省 サイバーセキュリティ課 情報セキュリティ対策専門官、名古屋工業大学 産官学金連携機構ものづくりDX研究所 プロジェクト准教授(ともに非常勤)



<休憩 10分間>

■ 講演3 15:40~16:20

「サイバーレジリエンスの高い製品セキュリティ実現に向けて」

株式会社日立製作所 デジタルエンジニアリング事業部
エンジニアリングサービス第1本部
インテグレーション&サービス第3部 第4G 主任技師

塩入 亮太

製品ライフサイクル全般のセキュリティ対策には、増加するサイバー攻撃のリスク管理から組織間・企業間連携での対策・運用まで、考慮すべき課題が多岐に渡ります。本講演では、「日立PSIRTソリューション」で支援する、サイバーレジリエンスの高い製品セキュリティ実現について紹介します。(PSIRT:Product Security Incident Response Team)

【講師プロフィール】

日立製作所へ入社以降、ネットワーク関連、IoT/セキュリティ関連の製品・事業企画、システムエンジニアとして従事。最近3年間は、主に製造業向けサイバーセキュリティ、PSIRTソリューションの提案・拡販を中心に活動。



■ 総会 16:20~16:30

Hitachiアカデミックシステム研究会 会長 外岡 秀行 (茨城大学 教授)

■ 閉会挨拶 16:30~16:40

Hitachiアカデミックシステム研究会 副会長 井元 清哉 (東京大学 教授)

Hitachiアカデミックシステム研究会とは・・・

日立の情報システム・ソリューションを学術研究・教育の分野で活用している者が中心となり、管理運営するボランティア研究会で、会員相互の研鑽と技術・情報の交流促進に寄与することを目的としています。

本会は学術研究・教育の分野の機関に属される方であれば、どなたでも参加可能な研究会ですので、ぜひお気軽にお申込みの上、ご参加ください。

<http://www.has.or.jp/>